

2024（令和6）年度卒業年次生アンケート集計結果

- ①回答期間：令和7年1月9日～令和7年3月31日
- ②対象者数：1,534名
- ③回答者数（回答率）：1,342名（87.5%）

- ④学科別回答者数（回答率）：
- 経営学科 307名（88.7%）
 - ホスピタリティ・マネジメント学科 145名（91.8%）
 - 経済学科 225名（85.9%）
 - 法律学科 278名（85.5%）
 - 国際関係学科 131名（89.1%）
 - 多文化コミュニケーション学科 115名（85.8%）
 - 都市創造学科 141名（87.0%）

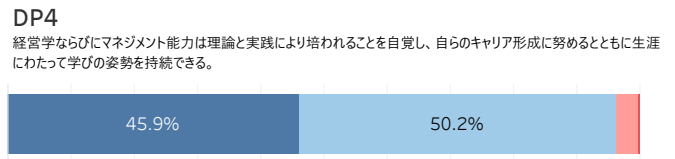
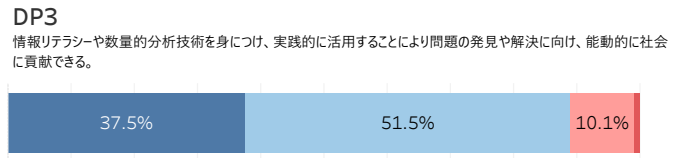
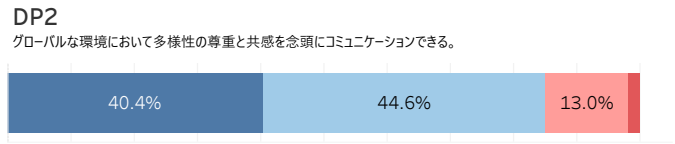
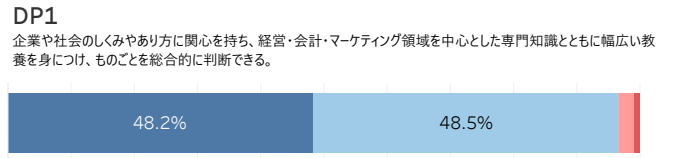
- ⑤目的：
- 卒業年次生を対象に、本学の教育内容や学生生活などについての意見を調査し、今後の施策の参考とするため。

Q1. 性別をお知らせください		Q2. 所属学科をお知らせください	
男性	767	1. 経営学科	307
女性	571	2. ホスピタリティ・マネジメント学科	145
回答しない	4	3. 経済学科	225
		4. 法律学科	278
		5. 国際関係学科	131
		6. 多文化コミュニケーション学科	115
		7. 都市創造学科	141

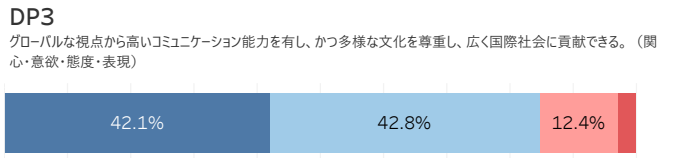
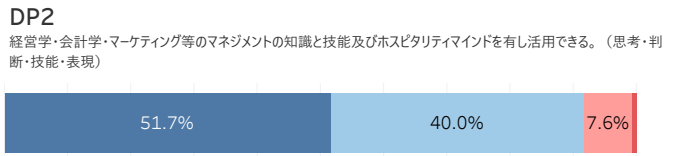
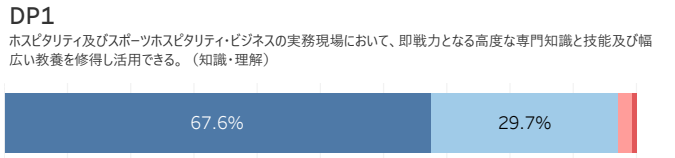
Q3.所属学部・学科の教育を通じて、次のようなことはどの程度身についたと思いますか。

- 1. 身につけることができた
- 2. やや身につけることができた
- 3. あまり身につけることができなかった
- 4. 身につけることができなかった

<経営学科>



<ホスピタリティ・マネジメント学科>



< 経済学科 >

DP1

経済社会の直面する経済問題を発見し、解決するために必要な経済学の基本的な知識と分析ツールを身につけている。



DP2

グローバルな視点を含めて、さまざまな視点から経済社会を総合的に理解するために必要な社会科学の幅広い知識と教養を身につけている。



DP3

アジアを始めとする国際社会の一員として、直面する課題に積極的に取り組む能力を身につけている。



DP4

他者を尊重しつつ自分の考えを表明し、周囲とコミュニケーションできる能力を身につけている。



< 国際関係学科 >

DP1

政治・法律・経済・社会にわたる社会科学諸領域の基礎知識を修得している。



DP2

この基礎知識を応用し国際社会の諸問題を考察することを通じて、国際関係への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力）が養われている。



DP3

一定水準の英語運用能力を備えている。



DP4

国際社会の一員としての倫理観を持ち、国際社会の平和と協力促進のために自ら積極的に貢献する姿勢を有している。



< 法律学科 >

DP1

法学及び政治学の主要分野について、基本的な専門知識を習得している。



DP2

多様な構成員からなる複雑な現代社会において、さまざまな利害をめぐり生ずる諸問題に積極的に取り組み、真に解決すべき課題を的確に把握する能力を有する。



DP3

多数者と少数者などの相対立する主張を客観的に捉え、公平な立場から、ルールに則り妥当な解決を導く判断力を有する。



< 多文化コミュニケーション学科 >

DP1

国境を越える多文化間交流の歴史と現状について基礎知識を習得している。



DP2

一定水準の英語力及びアジア諸言語能力を備えている。また、これを基礎に、多様な文化背景を持つ人々をつなぐコミュニケーション能力を身につけている。



DP3

多様な文化の現場での実地調査及び調査結果の分析・報告を通じて、多文化間交流への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力）が養われている。



DP4

文化の相互尊重の理念に立って、多文化間の交流と対話を促進する積極的な姿勢を有している。



<都市創造学科>

DP1

大きな3つの学びの領域「国際都市と留学」、「都市とビジネス」、「都市と社会」と関連づけながら、幅広い教養と社会学・経営学・ICTに関する高度な専門知識を身につけ、都市創造を理解している。



DP2

大きな3つの学びの領域と交わる都市の魅力や課題について、社会学・経営学・ICTの知識を用いて考察できる。



DP3

3つの学びを基礎に、アジア融合の視点から社会学・経営学・ICTの知識を、都市の魅力や課題解決策の開発に応用することができる。



DP4

他者と協力して、より良い都市の創造に能動的に貢献できる。



DP5

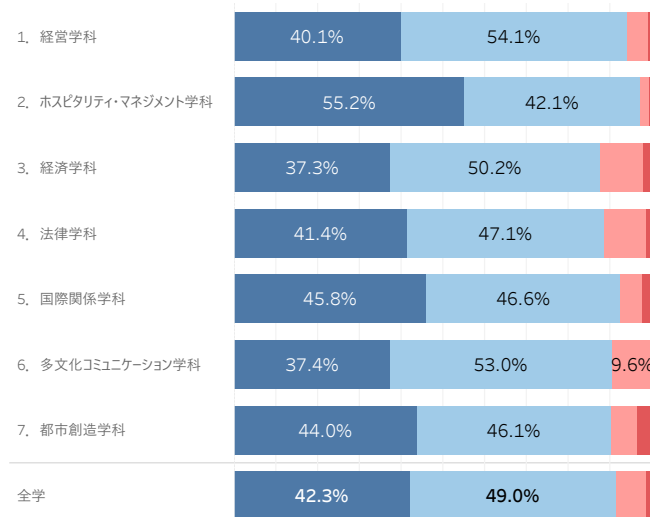
目標を定め、自らのキャリアを体験的に形成し、生涯にわたって学ぶ姿勢を持続できる。



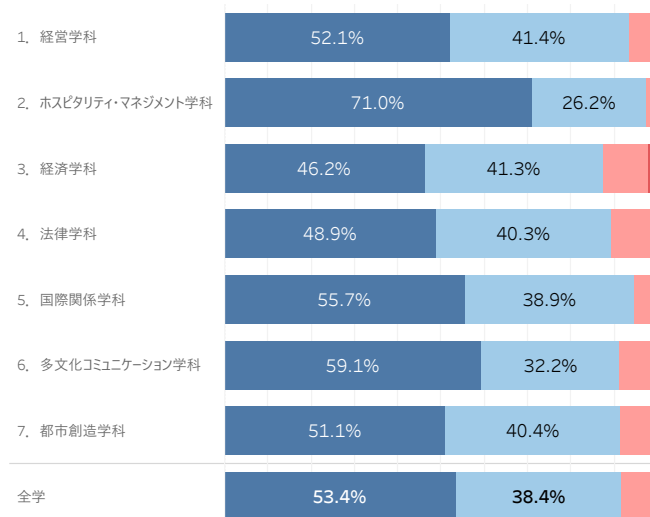
Q4.大学生活を通じて、次のようなことはどの程度身についたと思いますか。

- 1. 身につけることができた
- 2. やや身につけることができた
- 3. あまり身につけることができなかった
- 4. 身につけることができなかった

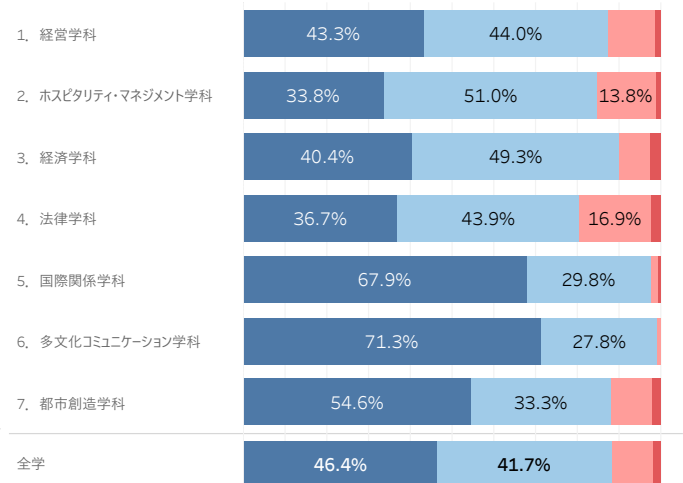
幅広い教養と高度な専門知識・技能を身につけ、柔軟に活用できる



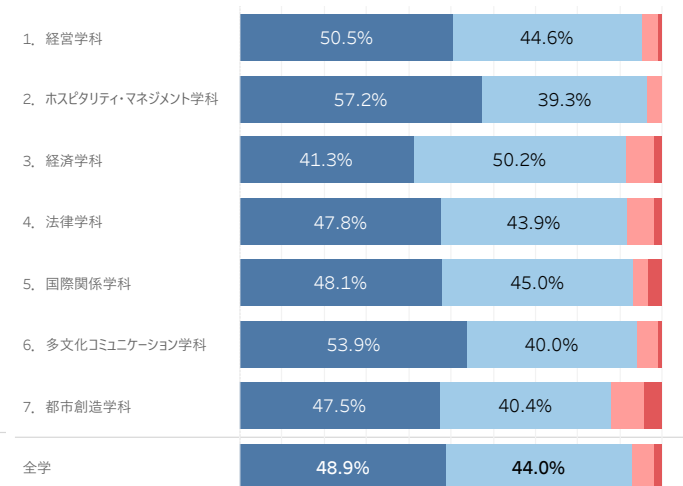
他者と協力して、より良い社会の形成に能動的に貢献できる



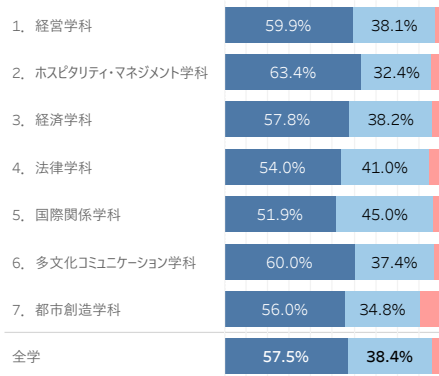
グローバルな視点から世界の諸文化を理解し、その多様性を尊重できる



目標を定め、自らのキャリアを形成し、生涯にわたって学びの姿勢を持続できる

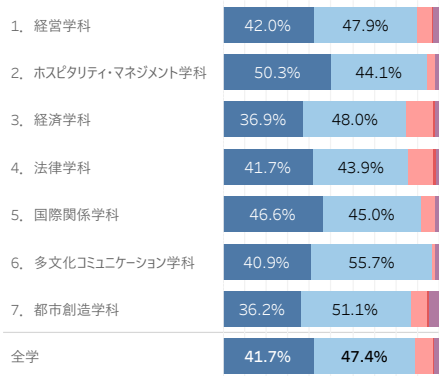


Q5.興味・関心を持って主体的に授業に参加することができましたか。



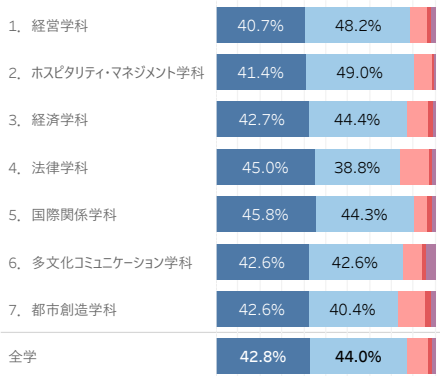
1. 参加できた
2. やや参加できた
3. あまり参加できなかった
4. 参加できなかった

Q6.所属学部・学科の教育目標を理解し、達成することができましたか。



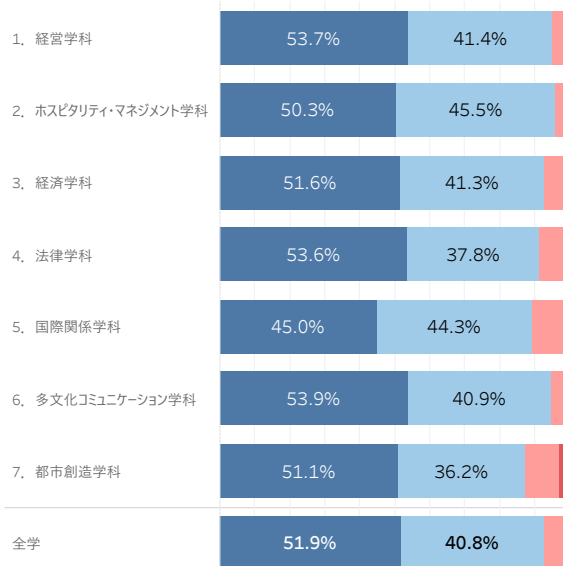
1. 達成することができた
2. やや達成することができた
3. あまり達成することができなかった
4. 達成することができなかった
5. 教育目標を知らなかった

Q7.亜細亜大学の建学の精神「自助協力」の理念を理解し、実践することができましたか。

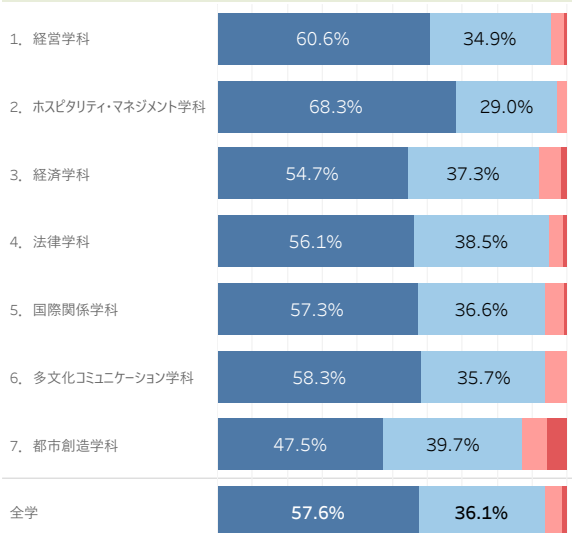


1. とてもできた
2. ややできた
3. あまりできなかった
4. できなかった
5. 「自助協力」の意味を知らなかった

Q8.あなたは亜細亜大学に対してどの程度満足していますか。



Q9.あなたは所属した学部学科に対してどの程度満足していますか。

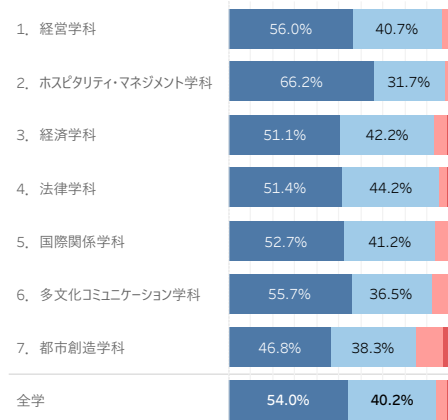


1. 満足
2. やや満足
3. あまり満足していない
4. 満足していない

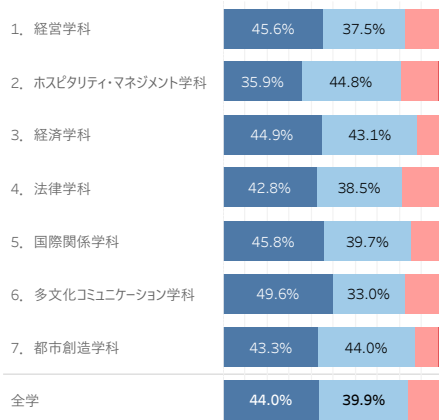
Q10.本学の教育内容について、入学から現在までの総合的な満足度をお聞かせください。

1. 満足
2. やや満足
3. あまり満足していない
4. 満足していない

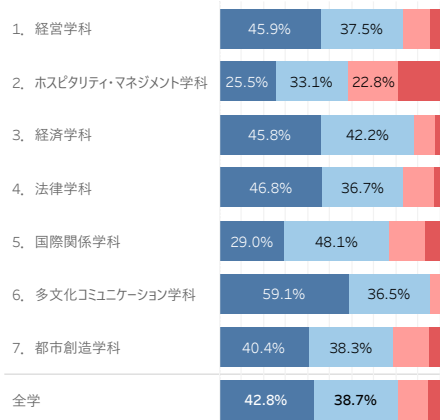
学部学科の専門分野教育



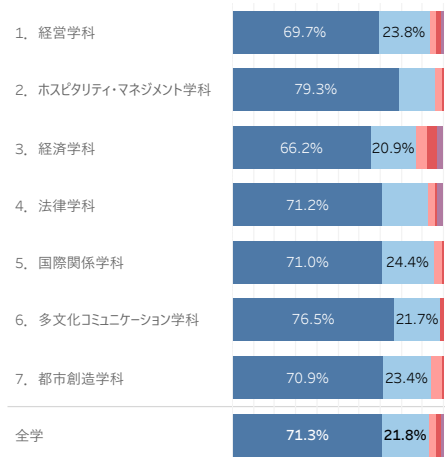
英語教育（Freshman English他）



英語以外の外国語教育

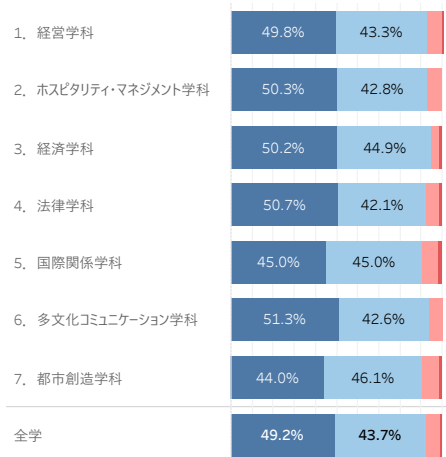


ゼミナール（卒業研究・卒業論文含む）



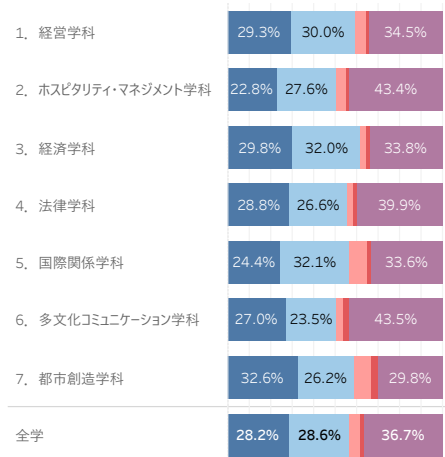
■ 1. 満足
■ 2. やや満足
■ 3. あまり満足していない
■ 4. 満足していない
■ 5. 履修していない

カリキュラム全般



■ 1. 満足
■ 2. やや満足
■ 3. あまり満足していない
■ 4. 満足していない

副専攻制度

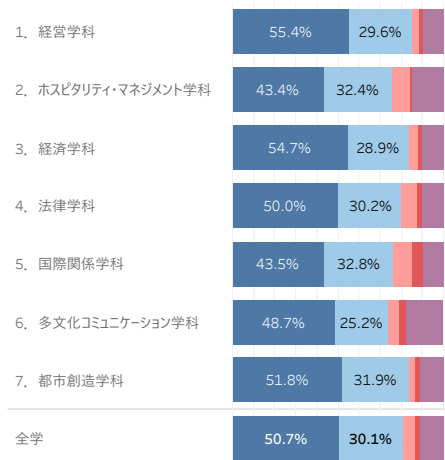


■ 1. 満足
■ 2. やや満足
■ 3. あまり満足していない
■ 4. 満足していない
■ 5. 副専攻を選択していない

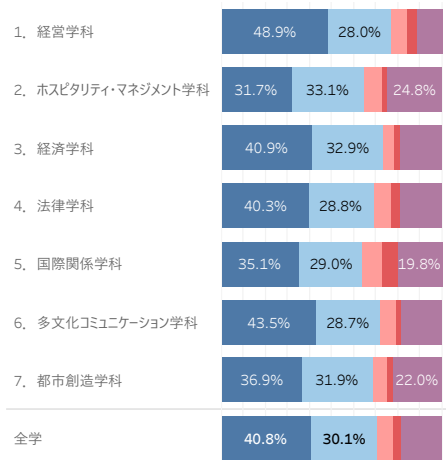
Q11. 本学が提供するサービス内容について、入学から現在までの総合的な満足度をお聞かせください。

■ 1. 満足
■ 2. やや満足
■ 3. あまり満足していない
■ 4. 満足していない
■ 5. 利用していない

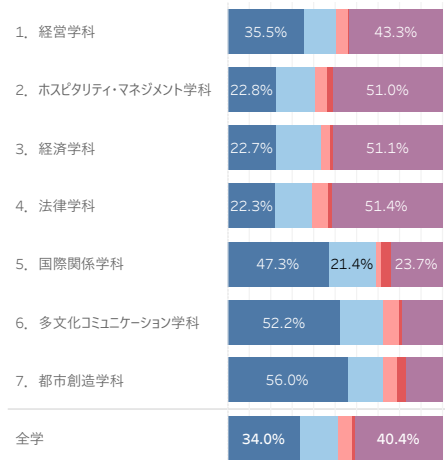
事務窓口



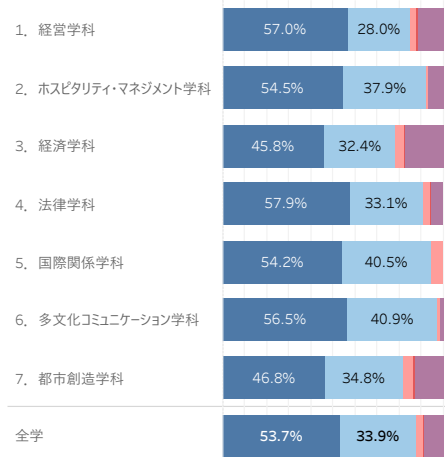
キャリア支援



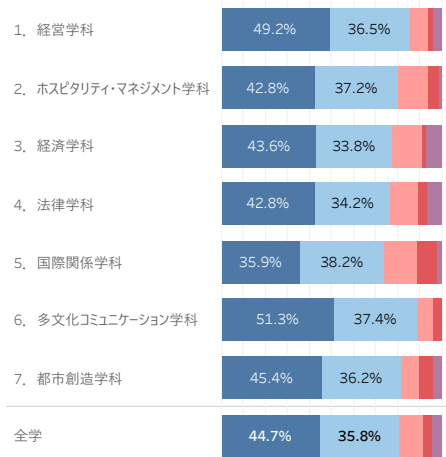
国際交流・留学制度



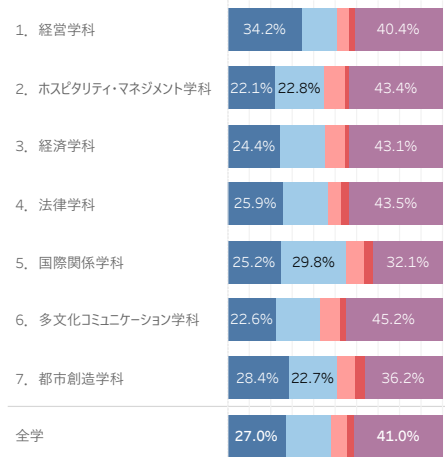
図書館（太田耕造記念館）



福利厚生施設（学生食堂・売店等）



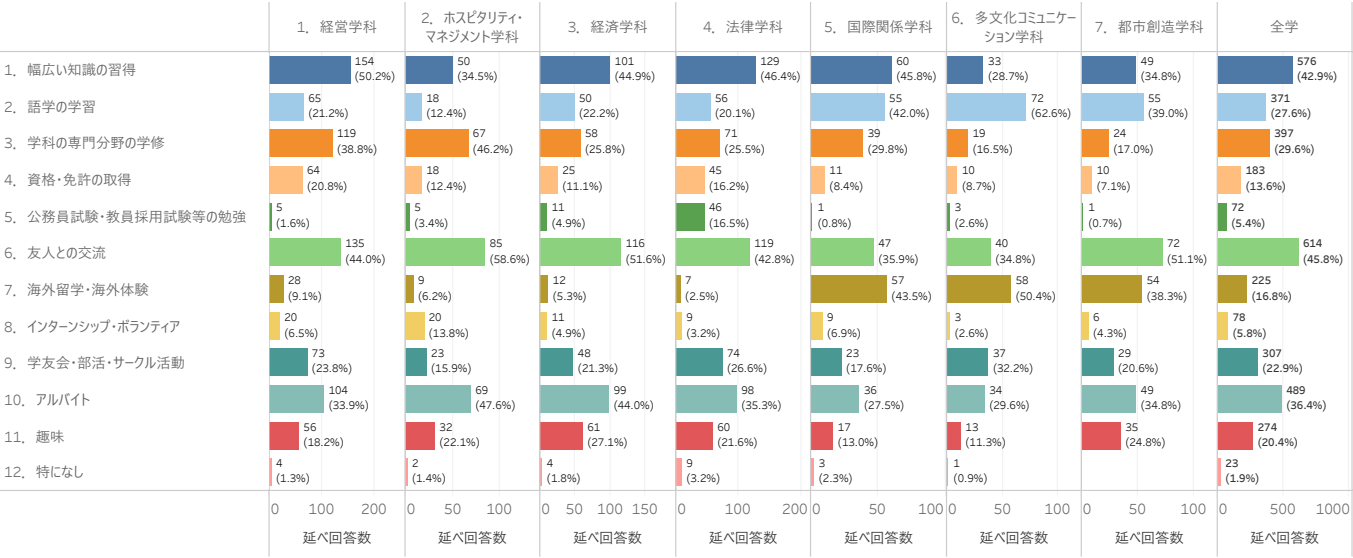
運動施設



Q12. 大学生生活で興味や関心を持って取り組んだことは何ですか。（3つまで回答可）

※延べ回答数（n=3,609）を表示

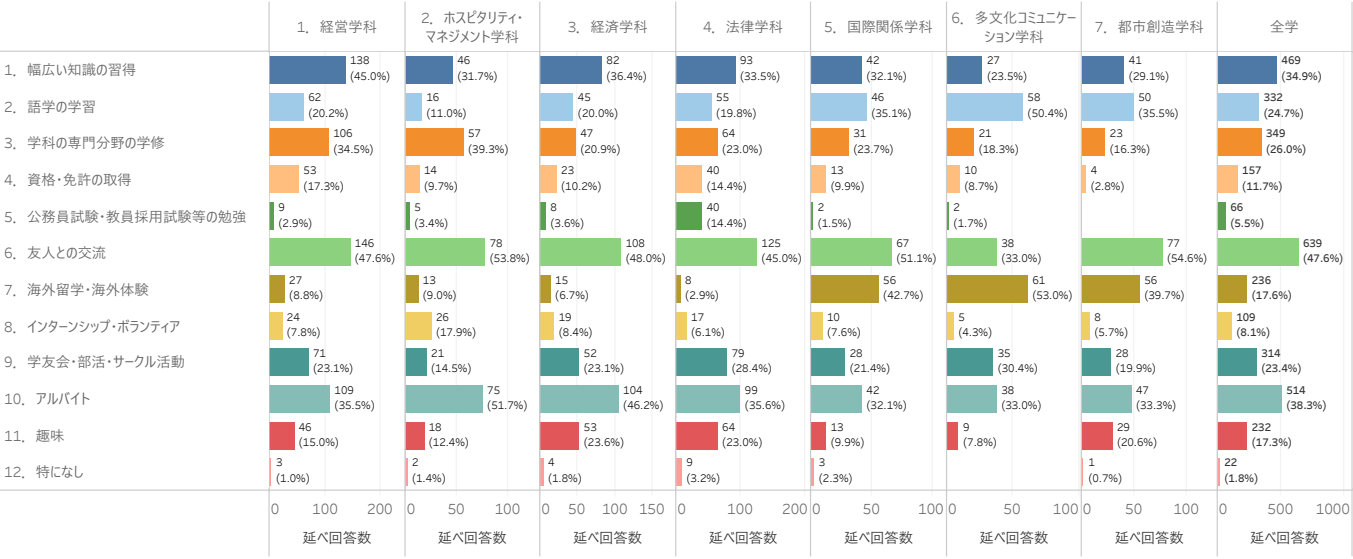
※学部ごとの回答数によって延べ回答数の軸範囲を調整



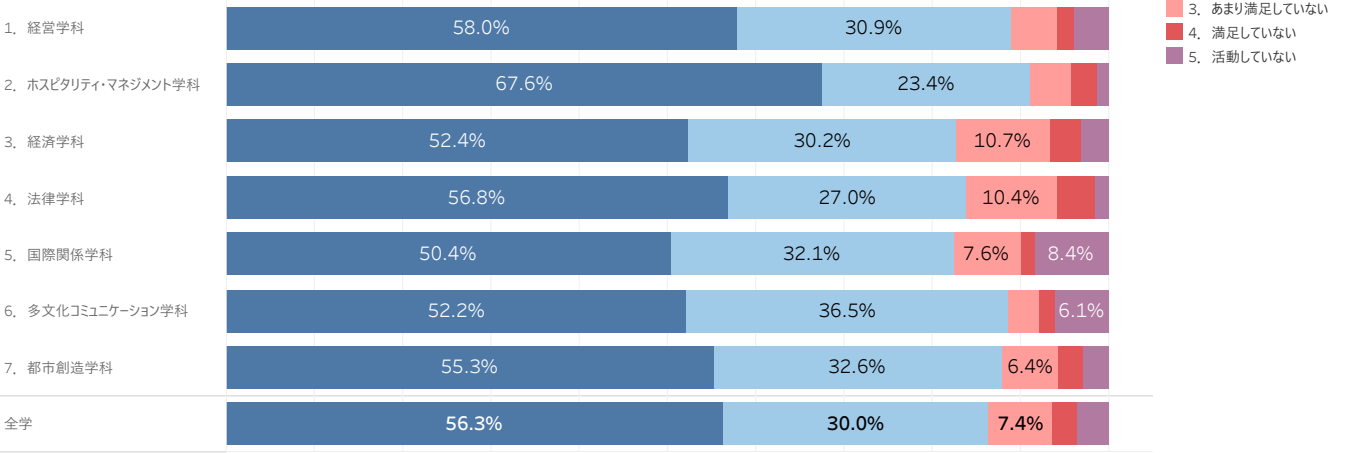
Q13. 大学生生活で自分に良い影響を与えた活動は何ですか。（3つまで回答可）

※延べ回答数（n=3,439）を表示

※学部ごとの回答数によって延べ回答数の軸範囲を調整



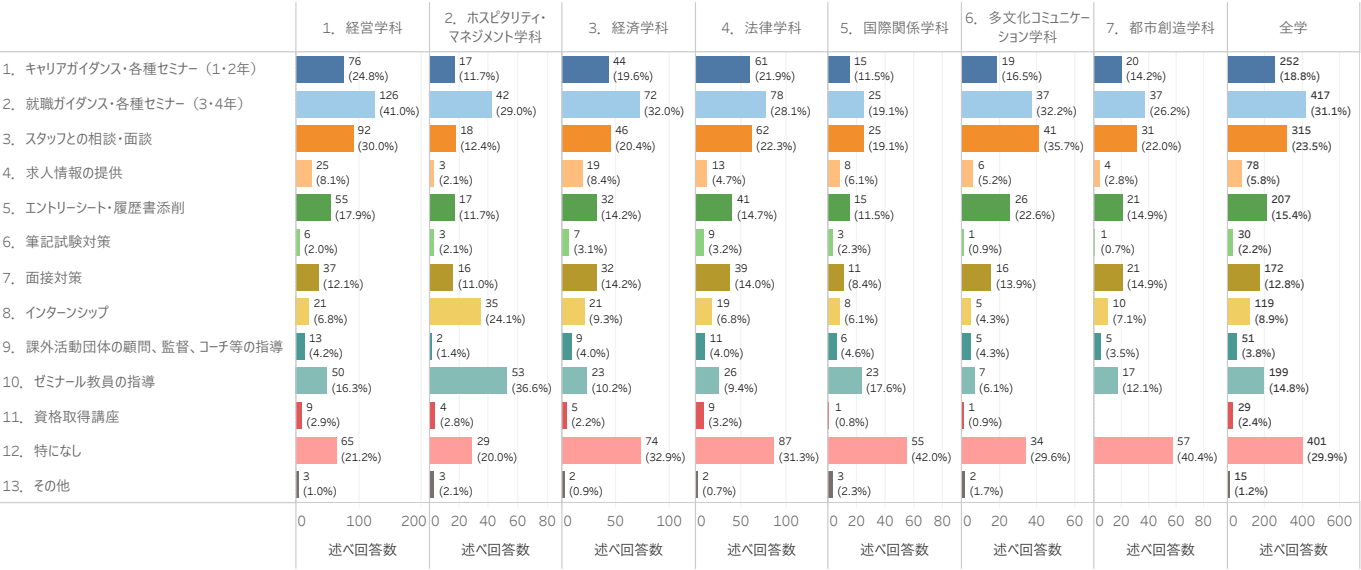
Q14. 自分の就職活動及びその結果について、満足していますか。



Q15. 進路が決定するまでの大学としてのサポートで、役に立ったのはどのようなことでしたか。（3つまで回答可）

※延べ回答数（n=2,285）を表示

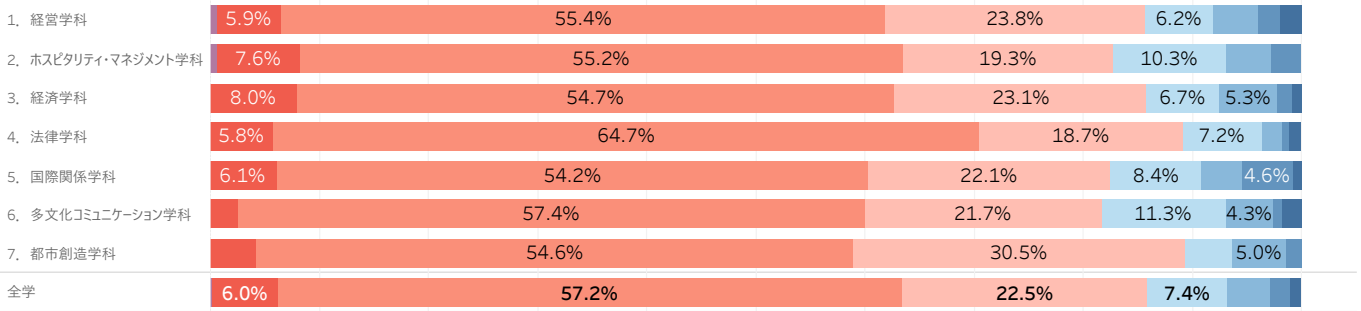
※学部ごとの回答数によって延べ回答数の軸範囲を調整



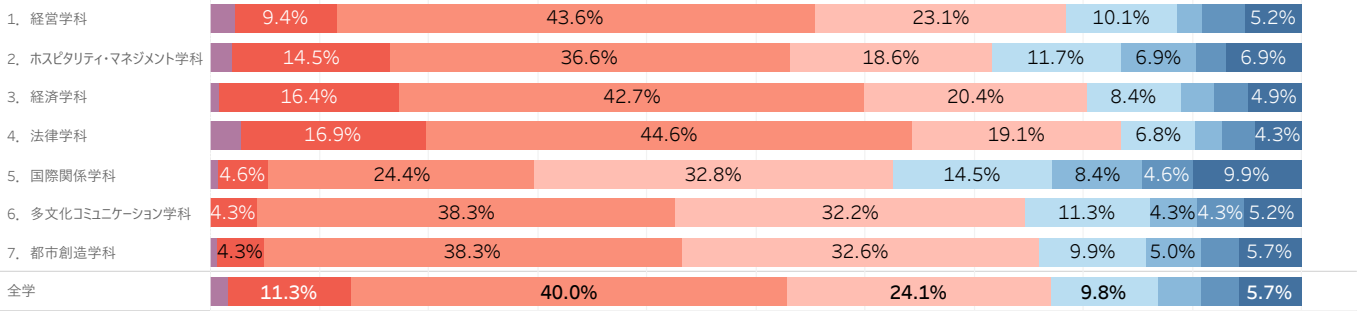
Q16. 今年度（令和6年度）を振り返って、授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

■ 所属していない ■ 1. 0時間 ■ 2. 1-5時間 ■ 3. 6-10時間 ■ 4. 11-15時間 ■ 5. 16-20時間 ■ 6. 21-30時間 ■ 7. 31時間以上

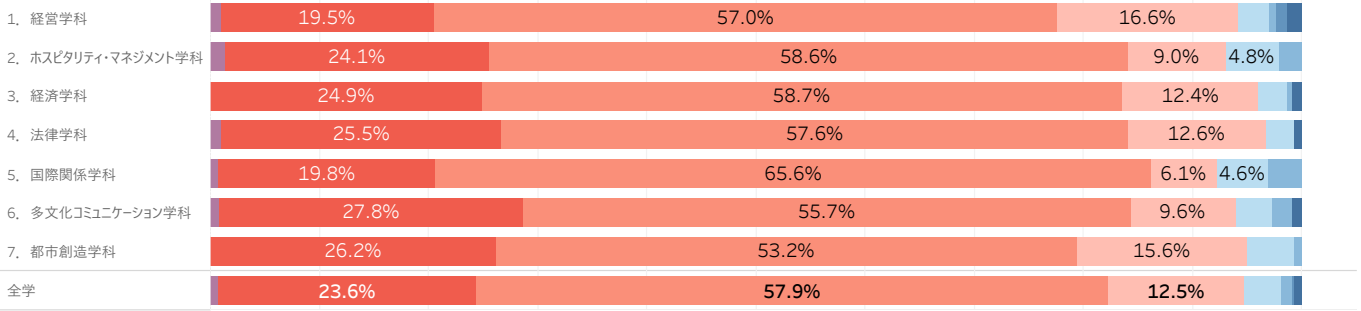
授業への出席（オンライン授業や実習を含む）



卒業論文・卒業研究・卒業制作

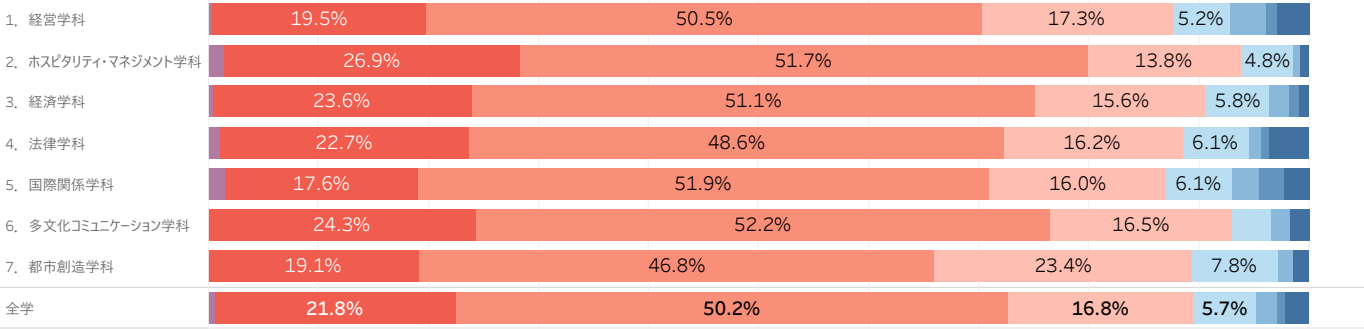


予習・復習・課題など授業に関する学習（卒業論文等は除く）

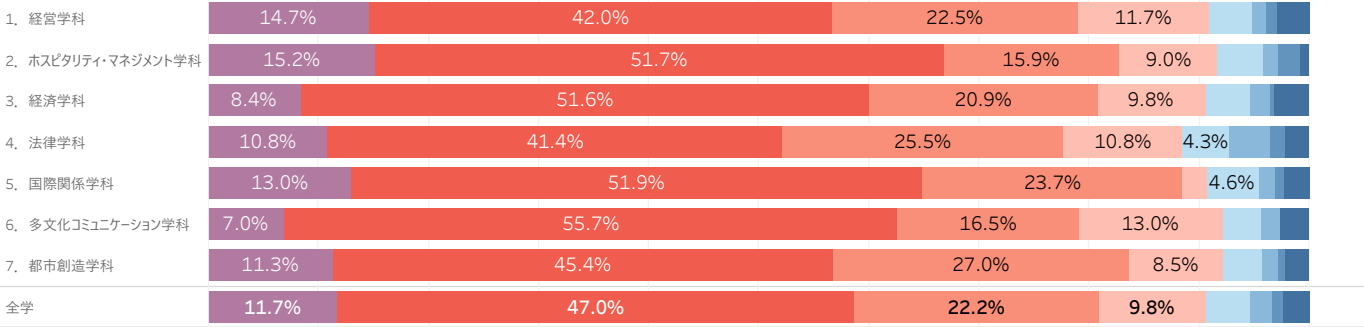


■ 所属していない
■ 1. 0時間
■ 2. 1-5時間
■ 3. 6-10時間
■ 4. 11-15時間
■ 5. 16-20時間
■ 6. 21-30時間
■ 7. 31時間以上

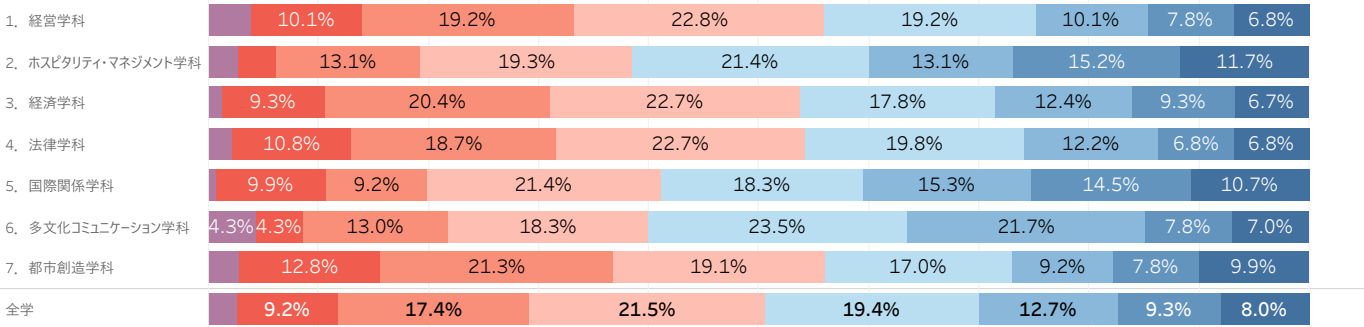
授業と直接関係しない自主的な学習（読書や資格試験の勉強等）



部活動・サークル活動



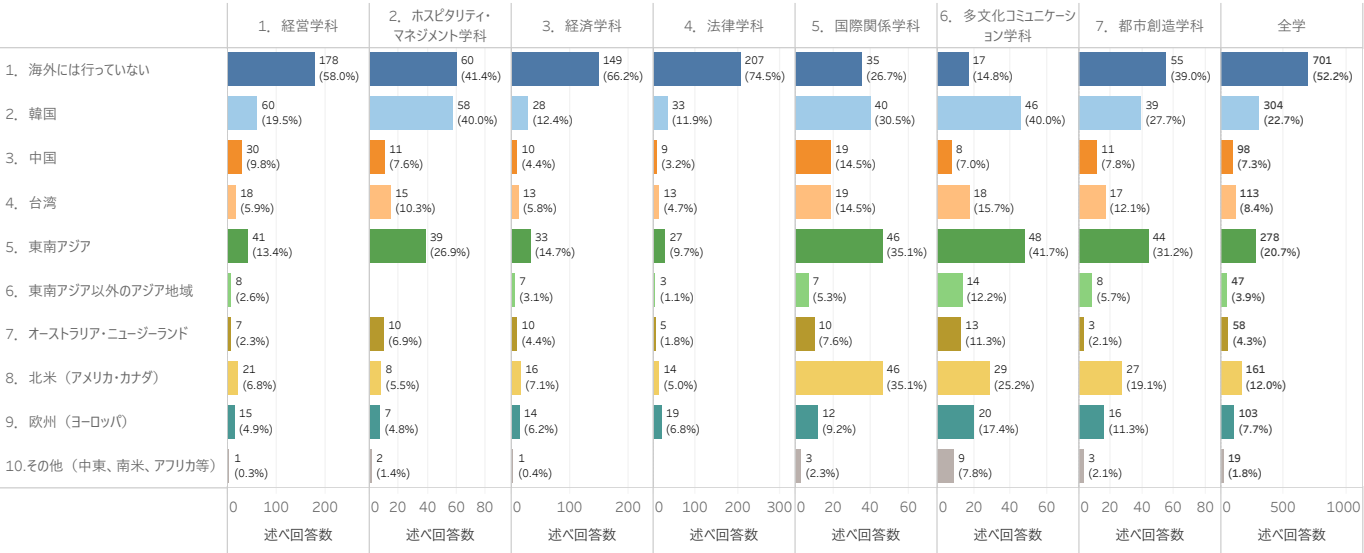
アルバイト・定職



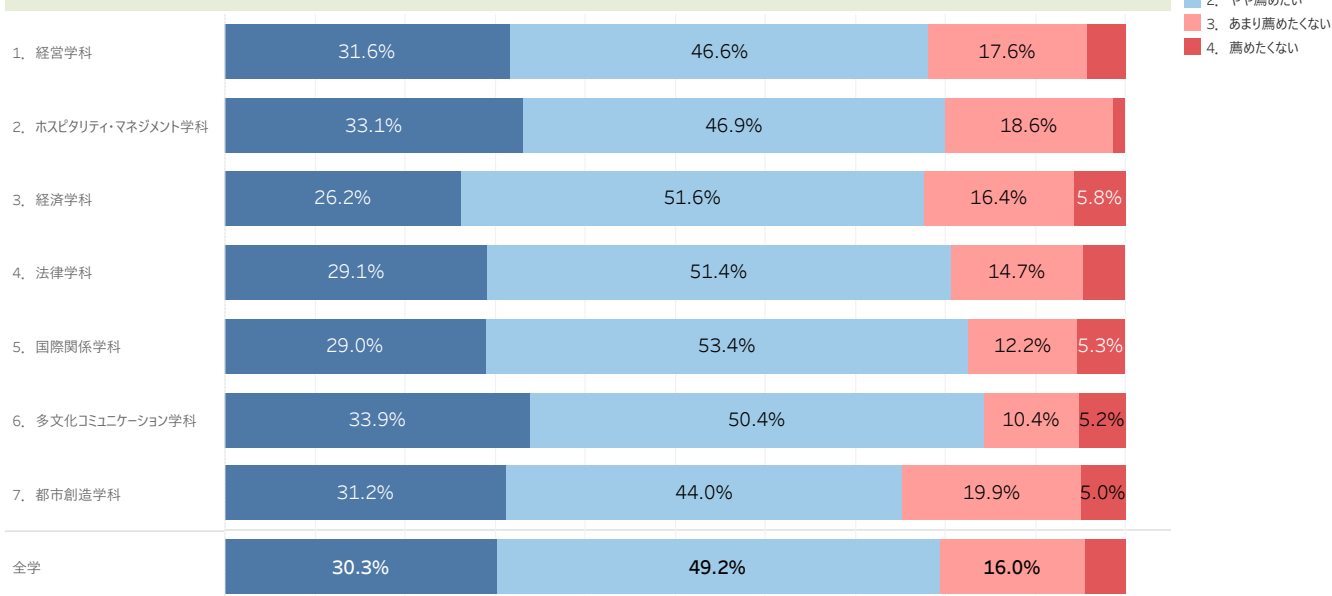
Q17. あなたは在学中に海外の国または地域を訪れましたか。（複数回答可）
 （渡航目的は問いません。これから3月末までに訪問する予定も含めて回答ください。）

※延べ回答数（n=1,882）を表示

※学部ごとの回答数によって延べ回答数の軸範囲を調整



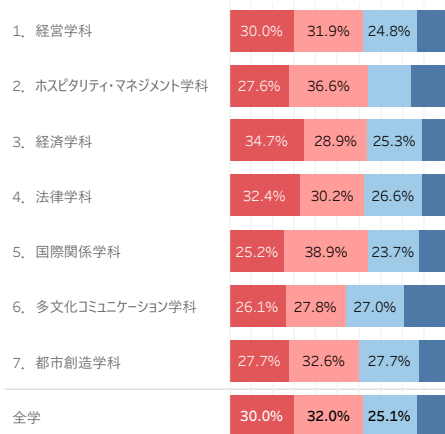
Q18.あなたの身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、亜細亜大学を薦めたいと思いますか。



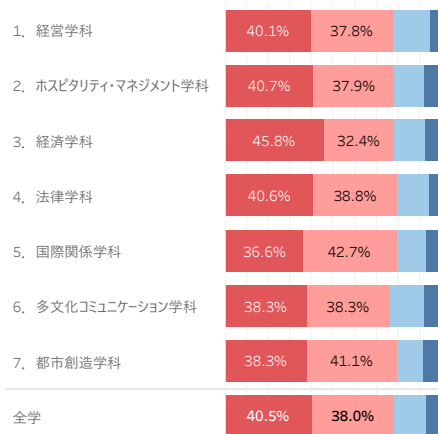
Q19.（コロナ禍による変化について）学生生活への影響はどの程度ありましたか。

1. 大きな影響があった 2. 多少影響があった 3. あまり影響なかった 4. 影響なかった

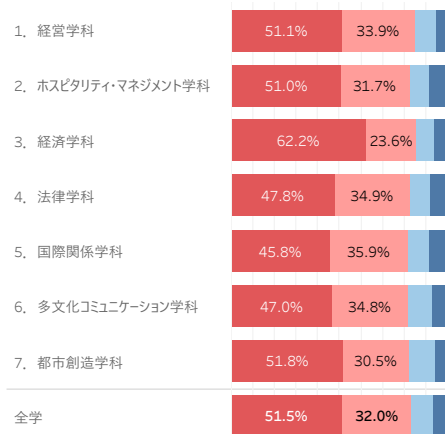
経済面



学業面



友人関係



Q20.（コロナ禍による変化について）在学中のオンライン（ハイブリッド含む）形式の授業について、満足していますか。

